

## 全国瞬時警報システム（Jアラート）が発信された場合の対応について

安八町教育委員会  
東安中学校組合教育委員会

### ◆Jアラート発信時

登校前	・登校せずに、自宅で待機する。
登下校中	・自宅、学校、近隣の建物の中などに避難する。 ・近くに建物がない場合、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
登校後	・学校職員の指示に従う。

### ◆行政（国・県・町 以下同じ）からの情報で安全確認ができた場合（弾道ミサイルが「日本の領土・領海の上空を通過した」「日本の領海外の海域に落下した」場合、および「日本の領土・領海内に落下した可能性がある」との情報伝達後の続報により、屋内避難を解除するような情報伝達があった場合。）

登校前	・午前6時15分までに（6時15分を含む）安全確認ができた場合は、 <u>通常通り登校する。</u> ・午前6時15分から8時までに（8時を含む）安全確認ができた場合は、 <u>確認後2時間以内に登校する。</u> ・午前11時までに（11時を含む）安全確認ができた場合は、 <u>午後1時半までに登校する。</u> ・午前11時を過ぎてから安全確認ができた場合は、 <u>臨時休業とする。</u>
登下校中	・行政からの放送等で安全確認ができてから、登校中であれば学校へ、下校中であれば自宅へ行く。登校時間については、上記「登校前」と同じ。
登校後	・学校職員の指示に従う。

※基本的には、時間的経過については「気象警報等の発表時における休業及び登下校について」の対応と同じであるが、下線部については、児童生徒の安全を最優先し、柔軟に対応すること。

### ◆何らかの被害がおよんでいる場合（弾道ミサイルが「日本の領土・領海の上空で爆発した」「日本の領土・領海に着弾した」場合など）

登校前	・行政からの指示、保護者の判断に従って行動する。
登下校中	・行政からの指示に従って行動する。急を要する状況では、口と鼻をハンカチで覆い、その場から離れ、密閉性の高い屋内、又は風上に避難する。
登校後	・学校職員の指示に従う。

※ミサイル着弾の有無、着弾場所、弾頭の種類などにより、被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネットなどで情報を収集すること。

※特別な場合（始業時刻を遅らせる・臨時休校にするなど）は、教育委員会からすぐメールを配信するなどして、児童生徒および保護者の混乱を避ける。ただし、通信・情報機器の機能停止を狙う「電磁パルス攻撃」等を受けた場合、配信不能になることもある。

※弾道ミサイル落下時の行動の詳細については、

「内閣官房 国民保護ポータルサイト (<http://www.kokuminhogo.go.jp/>)」を参照する。

※ミサイル落下時の政府の対応状況は、

「首相官邸ホームページ ([www.kantei.go.jp/](http://www.kantei.go.jp/))」

## 全国瞬時警報システム（Jアラート）による緊急情報が発せられた時の対応について

### ●弾道ミサイル発射に係る基本的な対応について

		弾道ミサイル発射		
弾道ミサイルの行方		①日本の領土、領海に落下（着弾）の可能性	②日本の領土、領海の上空を通過	③日本の領海外の海域に落下（着弾）
Jアラートのメッセージ		「ミサイル発射。ミサイル発射。ミサイルが発射された模様。建物の中、又は地下に避難してください。」	同左	同左
(1) 登校前		自宅待機。窓から離れるか、窓のない部屋に移動。	同左	同左
(2) 登校中		建物の中へ避難。	同左	同左
(3) 校 内		机などの下に入り身の安全を守る。	同左	同左
(4) 放課後		活動を打ち切り、建物の中へ避難。	同左	同左
(5) 下校中		建物の中へ避難。	同左	同左
(6) 自 宅		窓から離れるか、窓のない部屋に移動。	同左	同左
Jアラートのメッセージ ・直ちに避難することの呼びかけ ・通過の情報 ・落下場所等の情報		直ちに避難することの呼びかけ 「直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。」	通過の情報 「ミサイル通過。ミサイル通過。先程のミサイルは、 <b>■</b> 地方から <b>▲</b> へ通過した模様です。不審な物を発見した場合は、決して近寄らず、直ちに警察や消防に連絡してください。」	落下場所等の情報 「先程のミサイルは、 <b>○</b> 海に落下した模様です。不審な物を発見した場合は、決して近寄らず、直ちに警察や消防に連絡してください。」
Jアラート		「ミサイル落下。ミサイル落下。○○地方に落下した可能性があります。続報を伝達しますので、引き続き屋内に避難して下さい。」	/	/
備 考	登校又は下校の場合	・被害状況等にもよるが、安全が確認できれば登校中又は下校中の児童生徒は、学校又は自宅のどちらか近い方へ行く。 ・近くにミサイルが落下した場合は、口と鼻をハンカチで覆いその場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内、又は風上へ避難する。	・安全が確認できれば登校中であれば学校へ、下校中であれば自宅へ行く。	同左
	屋内の場合	・換気扇を止め、窓を閉める。	・安全が確認された後、授業や活動を再開する。	同左